

# 第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名:東京都 建設局 道路建設部

事業の名称:新交通 日暮里・舎人線建設事業

実施都市名:東京都

## 事業の目的

新交通日暮里・舎人線沿線は、東京都区部北東部に位置し、都心に近接した地域でありながら、公共交通網の整備が十分とは言えない“交通不便地域”であり、また、地域の主要道路である放射第11号線(尾久橋通り)は、道路交通渋滞が日常化し、その解消が急務となっていた。

このため、本路線の整備により交通不便地域の解消、交通渋滞の緩和、沿線地域の新たなまちづくりの誘導などを目的として整備を進めてきた路線である。

## 事業概要

事業名:新交通日暮里・舎人線建設事業

路線名:新交通専用道第2号日暮里・舎人線

事業箇所:荒川区西日暮里二丁目～足立区舎人二丁目

事業延長:約9.8km

幅員:7.5m

総事業費:約869億円

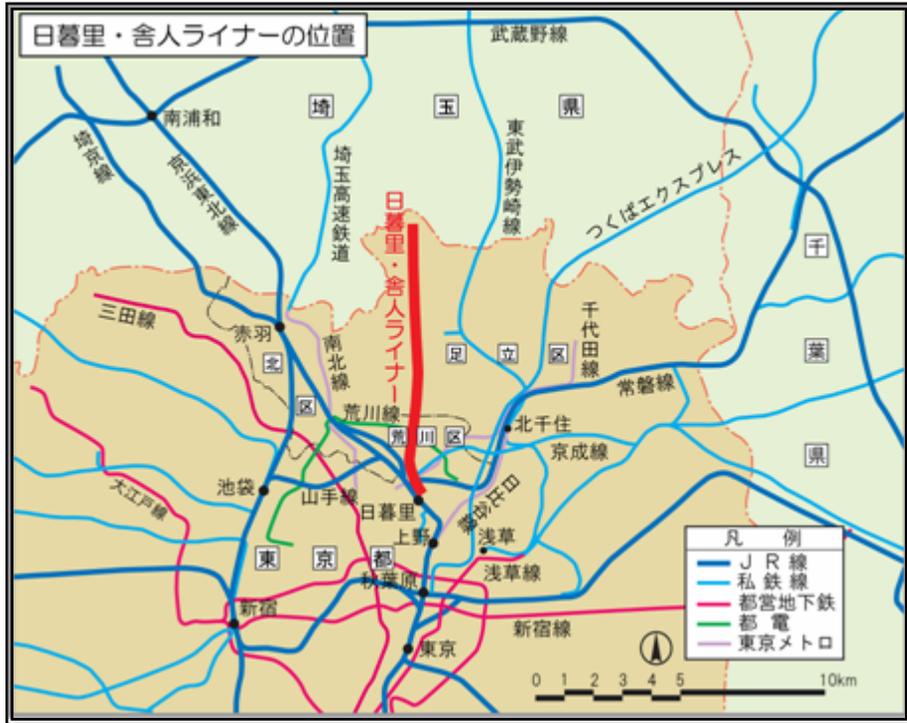
事業期間:平成9年～平成19年度

本事業は、荒川区の日暮里駅を起点として、足立区の舎人地区に至る延長約9.8kmの新交通システムである。

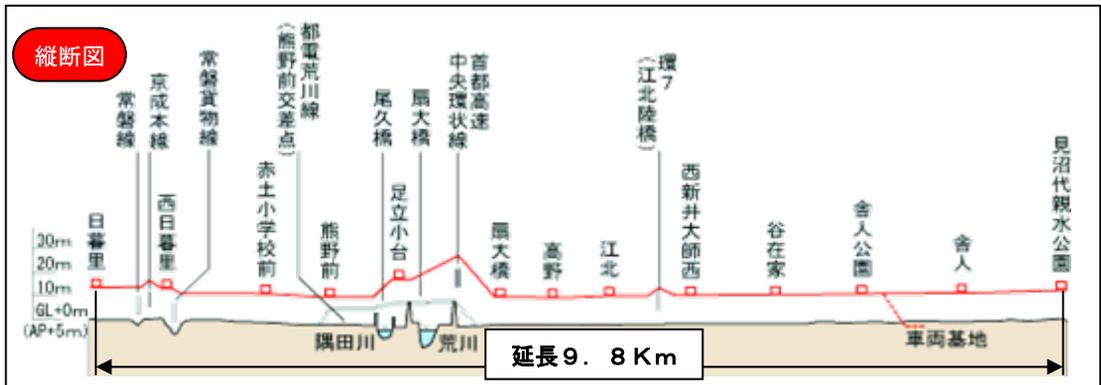
本路線は、平成9年12月に工事に着手し、平成20年3月に開業した。軌道部は、全線複線の高架構造で周辺的环境と調和したデザイン・色彩とし、駅舎部は、高架2層構造で3階がホーム、2階がコンコースとなり、誰もが安心して利用出来るようにESやEV等を全駅に設置している。

また、開業に合わせ沿線区でも街づくり事業(交通広場・駐輪場整備等)を進めてきた。

# 事業位置図

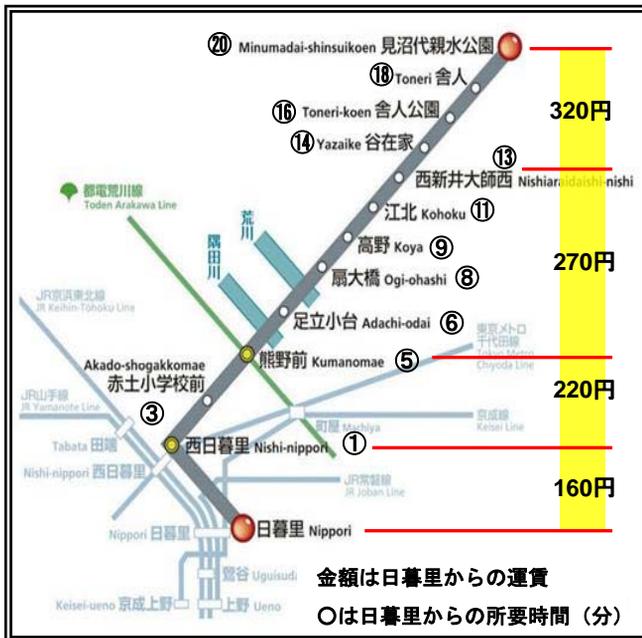


## 全体図(平面図・縦断図・横断図)



# 新交通 日暮里・舎人線の整備効果アピール資料

## 日暮里・舎人ライナー路線図



### ○事業概要

事業名: 新交通日暮里・舎人線  
建設事業  
路線名: 新交通専用道第2号  
日暮里・舎人線  
事業箇所: 荒川区西日暮里二丁目  
～足立区舎人二丁目  
事業延長: 約9.8Km  
幅員: 7.5m  
総事業費: 約869億円  
事業期間: H9～H19年度

### ○新交通利用者数

(平成20.4～12月・日平均)  
約49,000人/日 [東京都交通局提供]

### ○平成20年10月

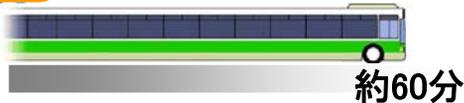
利用者数1,000万人を達成

### ■時間短縮効果

日暮里から舎人地区間の所要時間が大幅に減少

見沼代親水公園駅～日暮里駅 所要時間

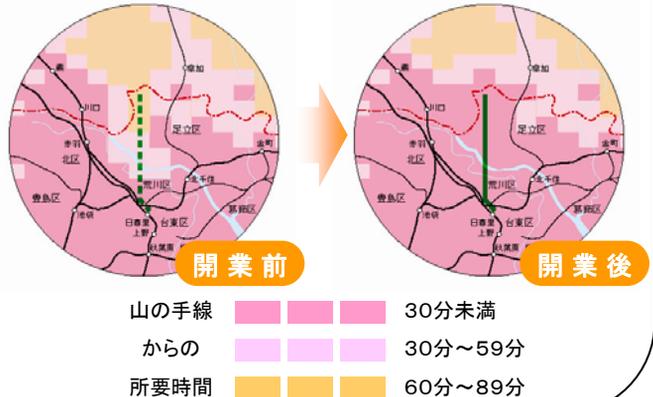
開業前



開業後



区部北東部から山手線までの所要時間が30分以内となる。



### ■CO<sub>2</sub>削減効果<t-CO<sub>2</sub>年>

バスからの利用転換が図られ、CO<sub>2</sub>の排出量が年間約7,700t削減

約70%削減



約7,700t-CO<sub>2</sub>/年削減

CO<sub>2</sub>を約7,700t-CO<sub>2</sub>/年削減

(森林約730haの二酸化炭素吸収量に相当)



※代々木公園(約54ha)の面積の約13.5倍に相当

出典:「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイダンス(優良手法指針)」より

# 事業前写真

平成14年5月撮影



荒川横断部

平成14年5月撮影

平成14年5月撮影



日暮里駅前

平成14年8月撮影



足立小台駅付近

平成14年9月撮影



西日暮里駅付近



高野駅付近

# 事業後写真

平成21年1月撮影



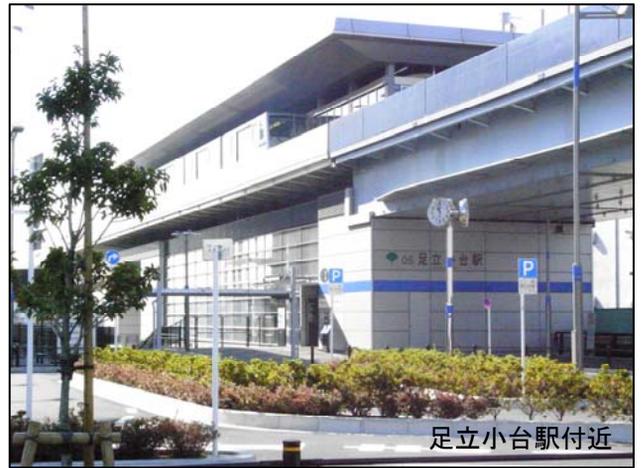
荒川横断橋梁

平成21年1月撮影

平成21年1月撮影



日暮里駅前



足立小台駅付近

平成21年1月撮影

平成21年1月撮影



西日暮里駅付近



高野駅付近